

2019年4月

会員各位

一般社団法人 型技術協会

## 第29回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

表彰式は「型技術者会議2019」開催中の下記日程で行います。多数のご参加をお願いいたします。

### 贈賞式(総会含む)

日時：2019年6月20日(木) 14:10～15:20

場所：大田区産業プラザ PiO

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20

(JR 京浜東北線 蒲田駅より徒歩12分、京浜急行 京急蒲田駅より徒歩2分)

\*「型技術者会議2019」の参加はお申込みが必要となります

## 第29回 型技術協会賞

### 「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 **菫蒲田 清孝** (マツダ株式会社)



マツダ魂動デザインなど、もの造りの素晴らしさを多分野で積極的に発信され、型技術協会副会長、型技術者会議実行委員長を歴任、型技術協会の発展に貢献した。

受賞者 **鈴木 光一** (マルスン株式会社)



マルスンスルガグループを率い、日本/世界のオンリーワン金型企業を育成され、日本金型工業会東部支部技術委員長として日本の金型技術の発展に貢献した。

## 「技術賞」

特に優れた貢献度の高い型技術の開発者（一般公募）

受賞題目及び受賞者

成形シミュレーションによるショックライン予測精度向上の取組み

足立 尚久、田中 美徳、椎名 利行（日産自動車株式会社）

## 「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

せん断加工の高精度化対策とオフラインでの加工条件検証の効果

－金型位置合わせのデジタル化とナノメートル精度の実現－（2018.4月号）

白鳥 智美（株式会社小松精機工作所）

放電加工の活用と自動化システムの構築（2018.6月号）

大野 伸二（株式会社黒田製作所）

鍛造におけるサイバーフィジカルシステム（2018.10月号）

藤川 真一郎（日産自動車株式会社）

## 「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2018」

鋳造用金型の表面形状と窒化・複合酸化皮膜が湯流れ性に及ぼす影響

中野 昇平、高橋 衛 (RTM 株式会社)

クロム粉末混入放電加工による高機能金型表面の形成

藤井 圭太、岡田 晃 (岡山大学)

北田 良二 (崇城大学)

タブレット利用による金型メンテナンス業務の履歴管理システム

市川 達也 (株式会社 SUBARU)

「型技術ワークショップ 2018」

NC プログラムの自動生成と加工時間予測で実現する

製品形状に応じた工作機械の割当て

西田 勇、白瀬 敬一 (神戸大学)

ラティス構造による金型の冷却性能向上

高野 昌宏、宮川 広康、吉田 勇太、塚田 勝之 (石川県工業試験場)

※所属は論文掲載時による